

地域に根ざした学校づくり

越前町立越前中学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	4回
中学校区を単位とした協議会	2回
地域及び家庭への学校公開	5回(のべ) 5日

(2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	5人
授業ボランティア(含:低ボラ)	0人
登下校支援ボランティア	0人
その他()	人

(3) 特色ある活動

テーマ 「心の教育の充実」

具体的活動内容

○家庭・地域の方にできるだけ学校に足を運んでいただき、生徒の活動の様子を実際に見ていただくよう努めた。

- 1 生徒が主体となってつくり上げる「絆づくりの場」の提供
全職員が、生徒一人一人の良さを引き出し、主体性を持たせるように活動や場を意識して設定し、生徒たちも自覚を持って主体的に活動ができた。

①校内(クラス対抗)合唱コンクール

- ・ 全校生徒が祖父母に招待ハガキを書き送付した。また、保護者だけでなく校下の小学生にも来校案内をした。
- ・ 全クラス対抗とし、合唱・伴奏・指揮部門の賞が設けられたり、地域の方々が大勢観に来たりすることもあり、発表への意欲が高まり、クラスが結集して真剣に取り組んだ。

音楽の授業や朝の会、昼休み、帰りの会等の限られた時間の合唱練習で、パート決めやパート練習を重ね、各クラスが2曲を披露した。はじめは声が小さかったり音程をうまく表現できなかったりしてもめていたクラスが、よりよい発表にしよう話し合いや練習を重ね、全員が一丸となって取り組んでいく過程や発表を終えてのやり遂げたといった笑顔から、クラスの絆の深まりが伺えた。



②学校祭(体育祭・文化祭)

- ・ 体育祭における組(縦割り学年で組んだチーム)対抗の応援合戦は、保護者や祖父母の方々が毎年楽しみにしており、多くの方々が参観に来られる。PTAの方々の協力の中、生徒たちは発表に向けて闘志をもやし、大変意欲的に取り組むことができた。

3年生一人ひとりがリーダーとして力を発揮し、大きな応援看板を制作したり応援のシナリオや振り付け等を考えて下級生に教えたりしながら創意工夫したエネルギッシュな応援合戦を全校生徒の手で創り上げていった。

- ・ 文化祭は、企画や運営を生徒会執行部の生徒に任せ、教師はそれを支援する形で実施した。執行部生徒が主体となって、毎日昼休みに生徒会室で話し合いを行い、運営委員の募集や発表内容、場の設定、運営シナリオ作りなどを行った。

今年度は、学級毎のコーナーも設け、招待した小学生や保護者、地域の方々がコーナーを楽しみ、中学生と交流した。



2 地域の教育力を生かした豊かな学びをめざして

- ①国語学習では、地域の方に書道の指導をお願いして、専門的な指導・助言のもと学習活動を行った。
- ②美術学習では、水墨画の指導を外部講師として地域の方をお願いし、墨の濃淡を生かした日本人独特の感覚的な空間表現や物の表現の水墨画学習を行った。
- ③家庭科学習では、越前町漁業協同組合女性部の方をゲストティーチャーとして招き、魚裁き体験を行った。生徒たちの多くは、魚を裁くのは初めてであったが、大きなハマチを指導を受けながら上手に裁くことができ、有意義な体験であった。



- ④技術科学習では、来年度に向けて水仙畑再生プロジェクトを実施する予定である。

成果と課題

- ・地域の方や祖父母、保護者の方々が大勢来ていただくなど交流を図ることができ、本校学校教育への理解や協力・支援を得ることができた。
- ・生徒一人ひとりの良さを引き出し、生徒が主体となってつくりあげる活動や場を設定して、人間関係づくりに心がけてきたことで、互いに認め合う姿が見られた。また、安心して居られる場所づくりにも繋がった。
- ・今後、さらに学校の活動を地域や保護者に広く開放し、家庭や地域との連携を図る中、人間的交流や社会的交流を深めていきたい。